安全データシート

プロピレングリコールモノエチルエーテル

改訂日：2024-01-29 版番号：1

1. 化学品及び会社情報

製品識別子

製品名	: プロピレングリコールモノエチルエーテル
CB番号	: CB9511785
CAS	: 52125-53-8
同義語	: プロピレングリコールモノエチルエーテル

物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: ペンキ、樹脂、インキの溶剤
推奨されない用途	: なし

会社ID

会社名	： Chemicalbook
住所	： 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	： 010-86108875

2. 危険有害性の要約

GHS分類

分類実施日

H23.3.15、政府向けGHS分類ガイダンス(H22.7月版)を使用

物理化学的危険性

引火性液体　区分3

健康に対する有害性

注) 上記で区分の記載がない危険有害性は政府向けガイダンス文書で規定された[分類対象外]、[区分外]または[分類できない]に該当するものであり、後述の該当項目の説明を確認する必要がある。

特定標的臓器毒性(単回ばく露)　区分3(麻酔作用)

ラベル要素

絵表示又はシンボル

GHS07	GHS02

注意喚起語

警告

危険有害性情報

眠気及びめまいのおそれ

引火性液体及び蒸気

注意書き

【応急措置】

皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。

吸入した場合、呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。

【保管】

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

換気の良い冷所で保管すること。

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

容器を接地すること。アースをとること。

容器を密閉しておくこと。

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。

【安全対策】

---

3. 組成及び成分情報

化学名又は一般名	: プロピレングリコールモノエチルエーテル
分子式 (分子量)	: C5H12O2
CAS番号	: 52125-53-8
官報公示整理番号(化審法・安衛法)	: (2)-2424
分類に寄与する不純物及び安定化添加	: 情報なし。
濃度又は濃度範囲	: 100%

---

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚に付着した場合

水と石鹸で洗うこと。

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。

眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

予想される急性症状及び遅発性症状

データなし

最も重要な兆候及び症状

データなし

応急措置をする者の保護

データなし

医師に対する特別注意事項

データなし

---

5. 火災時の措置

消火剤

泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤

データなし。

特有の危険有害性

静電気で引火するおそれがある。

極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。

引火性の高い液体および蒸気。

特有の消火方法

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

容器が熱に晒されているときは、移動しない。

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

消火を行う者の保護

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急措置

密閉された場所に立入る前に換気する。

関係者以外の立入りを禁止する。

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

全ての着火源を取り除く。

環境に対する注意事項

環境に放出しないこと。

回収・中和

不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

封じ込め及び浄化方法・機材

危険でなければ漏れを止める。

二次災害の防止策

すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

消防法の規制に従う。

局所排気・全体換気

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全取扱い注意事項

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地すること。アースをとること。

ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

接触回避

データなし。

保管

技術的対策

消防法の規制に従う。

保管条件

施錠して保管すること。

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。容器を密閉しておくこと。

容器包装材料

データなし。

---

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

未設定

許容濃度 (ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

日本産衛学会

未設定

ACGIH

未設定

設備対策

ばく露を防止するため、作業場には適切な全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には,適切な洗眼器と安全シャワーを設置すること。

保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を着用すること。

眼の保護具

適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を着用すること。

衛生対策

取扱い後はよく手を洗うこと。

---

9. 物理的及び化学的性質

Information on basic physicochemical properties

形状	液体(溶剤ﾎﾟｹｯﾄﾌﾞｯｸ (1994))
色	無色(溶剤ﾎﾟｹｯﾄﾌﾞｯｸ (1994))
pH	データなし
データなし	
データなし	
log P = 0.3 : ICSC (2004)	
3.66E+05 mg/L : SRC (Access on Nov. 2010)	
0.8979 (20 ℃/4 ℃) : 溶剤ポケットブック (1994) (データなし)	
データなし	
3.59 : Sax (11th, 2004)	
238 ℃ : 協和発酵ケミカル (2007)	
38.5 ℃ (CC) : 協和発酵ケミカル (2007)	
132.8 ℃ : 溶剤ポケットブック (1994)	
-100 ℃ : 溶剤ポケットブック (1994)	

融点・凝固点

-100 ℃ : 溶剤ポケットブック (1994)

沸点、初留点及び沸騰範囲

132.8 ℃ : 溶剤ポケットブック (1994)

引火点

38.5 ℃ (CC) : 協和発酵ケミカル (2007)

自然発火温度

238 ℃ : 協和発酵ケミカル (2007)

蒸気密度

3.59 : Sax (11th, 2004)

蒸発速度(酢酸ブチル=1)

データなし

比重(密度)

0.8979 (20 ℃/4 ℃) : 溶剤ポケットブック (1994) (データなし)

溶解度

3.66E+05 mg/L : SRC (Access on Nov. 2010)

オクタノール・水分配係数

log P = 0.3 : ICSC (2004)

分解温度

データなし

粘度

データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

データなし

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

---

11. 有害性情報

急性毒性

経口

1-エトキシ-2-プロパノール(CAS:1569-02-4)について>5000mg/kg bw (ECETOC TR 95 (2005))。(GHS分類:データがなく分類できない。)

経皮

1-エトキシ-2-プロパノール(CAS:1569-02-4)について>8082mg/kg bw (ECETOC TR 95 (2005))。(GHS分類:データがなく分類できない。)

吸入

吸入(ガス): GHSの定義における液体である。(GHS分類:分類対象外)

吸入(蒸気): データなし。(GHS分類:分類できない)

吸入(粉じん・ミスト): ラットLC50値: 42.6mg/L超(4時間)(PATTY (5th, 2001)。なお、常温に於ける飽和蒸気濃度は14mg/Lであるため粉じん及びミストの基準値を適用した。(1-エトキシ-2-プロパノールとして>43 mg/l (ECETOC TR 95 (2005))。)(GHS分類:区分外)

皮膚腐食性・刺激性

1-エトキシ-2-プロパノール(CAS:1569-02-4)のデータとしてウサギを用いた試験で軽度の刺激(ECETOC TR 95 (2005))。(GHS分類:データがなく分類できない。)

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性

1-エトキシ-2-プロパノール(CAS:1569-02-4)について、ウサギを用いた試験で結膜への刺激性、角膜への作用が認められるが重度ではなく7日以内に回復した(ECETOC TR 95 (2005))。(GHS分類:データがなく分類できない。)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性:データなし。(GHS分類:分類できない)

呼吸器感作性:データなし。(GHS分類:分類できない)

生殖細胞変異原性

1-エトキシ-2-プロパノール(CAS:1569-02-4)についてもin vivo のデータはなく、in vitro 試験でおるエームス試験、染色体異常試験でいずれも陰性(PATTY (5th, 2001))。(GHS分類:データがなく分類できない。)

発がん性

データなし。(GHS分類:分類できない)

生殖毒性

1-エトキシ-2-プロパノール(CAS:1569-02-4)について妊娠ラット、及びウサギの器官形成期に吸入ばく露した試験において親動物の体重増加抑制がある用量で仔に対する悪影響はなかった(PATTY (5th, 2001))。(GHS分類:データがなく分類できない。)

---

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性(急性有害性)

データなし。(GHS分類:分類できない)

水生環境有害性(長期間有害性)

データなし。(GHS分類:分類できない)

オゾン層への有害性

当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。(GHS分類:分類できない)

---

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

汚染容器及び包装

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

---

14. 輸送上の注意

該当の有無は製品によっても異なる場合がある。法規に則った試験の情報に基づく修正の必要がある。

国連番号

3271

品名

エーテル類(他に品名が明示されているものを除く。)

Proper Shipping Name

ETHERS, N.O.S.

クラス

3

PG

III

海洋汚染物質

非該当

国際規制

海上規制情報

IMOの規定に従う。

国際規制

航空規制情報

ICAO・IATAの規定に従う。

国内規制

陸上規制情報

消防法の規定に従う。

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報

航空法の規定に従う。

特別安全対策

重量物を上積みしない。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

食品や飼料と一緒に輸送してはならない。

移送時にイエローカードの保持が必要。

緊急時応急措置指針番号

127

---

15. 適用法令

消防法

第四類引火性液体 第二石油類水溶性液体(法第9条の4、危険物令第1条の12・別表第4)

船舶安全法

引火性液体(危規則第3条危険物告示別表第1)

航空法

引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)

---

16. その他の情報

略語と頭字語

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

TWA: 時間加重平均

STEL: 短期暴露限度

RID: 鉄道による危険物の国際運送に関する規則

LD50: 致死量 50%

LC50: 致死濃度 50%

IMDG: 国際海上危険物

IATA:国際航空運送協会

EC50: 有効濃度 50%

参考文献

【14】Sigma-Aldrich、ウェブサイト https://www.sigmaaldrich.com/

【13】IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイトhttp://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home

【12】IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト http://www.iarc.fr/

【11】HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm

【10】有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイトhttp://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp

【9】ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイトhttp://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg

【8】eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイトhttp://www.echemportal.org/echemportal/index?pageID=0&request_locale=en

【7】ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト https://echa.europa.eu/

【6】ChemIDplus、ウェブサイト http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp

【5】カメオケミカルズ公式サイト http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple

【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)https://www.nite.go.jp/

【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) https://www.chemicoco.env.go.jp

【2】化学物質審査規制法(化審法)https://www.env.go.jp

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト https://www.mhlw.go.jp

免責事項：
本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本SDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。